



あだたら

A d a t a r a

編集 市原 潤介 氏
Photo 紀原 隆雄 氏 (2名40名取り撮影)

二本松青年海外協力隊訓練所 JICA二本松ニュースレター

2006年夏号(第4号)

— 発行所 4月号発行 —



伊達市長(仁志田昇司氏)ごあいさつ

シリーズ連載 せかいのくから「ベトナム」

W.W.W. ワールドワイドなわをこし音...

NEW!
4コマまんが 協太



「ジャンベ」のリズムに熱狂

ふくしま青年海外協力隊の会(OV会)主催の「地球体験キャラバンスペシャル2006」が7月30日に訓練所にて開催されました。

当日は音楽集団「カニンKAN」が奏でるアフリカのジャンベのリズムにのり、未来の協力隊となる福島県内小中学生約150名が研修員等の外国人と交流しました。

伊達市長ごあいさつ

伊達市における国際協力・交流事業



伊達市長
仁志田 昇司氏

福島県伊達市は、平成18年1月1日、伊達郡内の5つの町が合併して誕生した新しい自治体であり、現在のところは、合併前の2町の事業を伊達市に引き継いで実施しています。

1つは、旧伊達町の「ウズベキスタン共和国の農業研修生受け入れ」への協力です。2ヵ月間の滞在において、農業研修生が快適にそして安全に生活できるよう、伊達市の概況や基本的な生活の仕方などを指導しています。

ほかに、旧保原町の「オーストラリア・ケアンズ市との交流事業」への取り組みです。保原町国際交流協会による市民レベルの交流ですが、市役所内に事務局を



▲ オーストラリア・ケアンズ市においての交流

おき、補助金を交付しています。

今後は、これまでの交流を続けるほか、「福島県伊達市」として新たな国際協力・交流事業に取り組んでまいりたいと考えております。

伊達市長 仁志田 昇司

青年招へい Youth Invitation...

Welcome! ようこそ、ニッポンへ



6月13日から20日までの約1週間、アセアンの8カ国より教育分野に携わる青年26名が福島県を訪れ、二本松市内の小中学校訪問やホームステイをおし市民の方々と情報交換を行いました。

特に学校訪問では通学から帰宅までの一日体験を生徒とともに、日本の義務教育の現場における指導法や教育システムを参加型で研修するユニークなプログラムとなり、好評を得ました。

▶ 二本松南小学校での歓迎会





Report of events

北 ミニ地球市民 フェスティバル 開催!

2006年6月10日～11日、「コラッセふくしま」にて「東北ミニ地球市民フェスティバル」が開催されました。これは前巻号掲載の国際交流・協力団体が集った「ふくしま地球市民フェスティバル2006」の兄弟版ともいえます。

JICA二本松は、「教育」をテーマにし、研修員からの寄付による世界の教科書や世界の絵本、協力隊員の教育現場のパネル、モンゴルの子どもたちが描いた絵、パソコンによる「クイズ学校に行きたい」など、世界の教育の現状を展示紹介しました。当日はアジアやアフリカからの研修員も参加し、各国の現況をリアルに来場者に伝えました。

▼世界の教科書・絵本



▼モンゴルの子どもたちが描いた絵



草の根技術協力

Hello!! こちら福島県NGOです。

<第2回目>

「マレーシアキャンプ」の現場から

今回は、「福島県障がい児・者の動作学習研究会 (FAMAT)」がマレーシアで開催している研修キャンプの内容について紹介します。

キャンプは「講義・実技」と「実践」、「ケース検討」の3つが柱となって研修が進んでいきます。その中で参加者は、障がいを持った人たちの動作の改善やコミュニケーション力の発達を支援する教育的なかかわりを学んでいきます。

「講義・実技」(写真1) 自分の身体を動かす体験をしながら心理リハビリテーションの理論を学びます。

「実践」(写真2) スーパーバイザーの指導の下、実際のかかわり方を学びます。

「ケース検討」(写真3) VTR等で実践を振り返りながら話し合い、より良いかかわり合いについて検討していきます。

5泊6日のキャンプ中、3つの柱が関連し合い日々深まることで、研修生の実践力がアップしていきます。

(FAMAT: 根本健一)



▲写真1「講義・実技」



▲写真2「ケース検討」



▲写真3「実践」



JICA二本松新所長 筒井 昇 郡山経済研究会(水曜会)の講演報告

◆所長イラスト：青年海外協力隊 平成18年度1次隊 廣瀬智子さん

所長就任以来、県内各種団体から講演を頼まれることが多く、その度に何をテーマに話をするか悩む。講演依頼先に明確な意図とテーマがあれば、講演を引き受けるか、お断りするか、即座に判断できるのだが、困ったことにJICA二本松所長としての話を聞きたいという要望が結構多いのだ。こういう時は、JICA事業の紹介のほかに、できるだけ現地で撮ってきた写真を使ってアフリカや隊員活動の話をするにしている。少々私の話がまずくても、現地の映像にインパクトさえあれば、参加者は結構関心を示してくれるのだ。まさに文明の利器「パワーポイント」さまさまである。

最近、郡山市の財界人の集まりである水曜会からの講演依頼があった。郡山市内の企業のトップが集まる朝食会での講演で、「JICAを取り巻く環境の変化と協力隊事業」がテーマということで、私としても久しぶりに力が入った。影響力のある財界人を前にしての講演ということもあるが、JICAが平成20年をめどに、技術協力、無償資金協力、有償資金協力(円借款)という日本の政府開発援助(ODA)の三本柱を一手に実施する一兆円規模の事業予算をもつ世界最大の二国間援助実施機関となるからである。円借款については、昨年9月ころ、政府系金融機関の一本化に向けた

議論が高まり、国際協力銀行(JBIC)が円借款を抱えたまま新たな金融機関に統合された場合、その一部門としての円借款が埋没する恐れがあるので、自民党内で円借款を国際協力銀行から切り離すことが検討され、ワーキングチームが設置された。また、外交の一元化の観点から、外務省内にバイ・マルチ(二国間・国際機関)双方の機能を統合した国際協力局が設置されること、政策決定の複雑化を回避するため、各省による共管を避け、外務省が円借款を一元的に所管する見込み等について説明。

青年海外協力隊事業については、主にシニア海外ボランティアの事業概要と現職参加制度について説明。現在、シニア海外ボランティア(40歳から69歳)は52ヶ国691人が派遣されているが、2007年問題で象徴されるようにこれから団塊の世代が引退し、生きがいを求め、第二の人生をボランティア活動にささげようとするシニア層が増えている。シニア海外ボランティアは60歳代の方が多く、活動言語、健康、処遇等の問題があり若干伸び悩んではいるが、高齢化社会の到来とともに今後拡大する事業であることを強調した。

民間企業職員の現職参加については景気の低迷とともに減少傾向に

あるが、職員の人材育成という観点からJICAの人件費補填制度を活用し、積極的に職員を協力隊事業に参加させてほしいと要請した。国家公務員や県職員の現職参加は休職条例が整備されているので可能であるが、市町村職員については、未整備のところが多い。現在県内で休職条例が制定されているのは、いわき市、郡山市、二本松市、岩瀬郡鏡石町と西白河郡泉崎村の5市町村のみである。また、県庁所在地で休職条例が整備されていない市は、全国で福島市を含め残り5市となっており、福島県は他県と比べ決して進んでいる状況ではないことを報告した。

同講演会には、水曜会のメンバー約70名が出席し、熱心に講師の話に聴き入っていた。また、福島民報が2回に渡り同講演会の記事を掲載し、一般県民に対しJICA事業の紹介をしてくれた。

JICA二本松所長 筒井 昇



2006.7.18, 福島民報記事

研修員だより

草の根技術協力事業「ウズベキスタン・フェルガナ州果樹栽培技術向上計画」



ウズベキスタンと福島県との交流は1979年から始まっており、これまでも元日本兵の墓参りや民族舞踊団の公演など様々な活動が行われています。こうした状況の中、JICAの「草の根協力事業」として、福島と地形や気候がよく似ているウズベキスタン国フェルガナ州における果樹栽培の技術移転が昨年度より行われており、今年も2名の農業技術者を春に、また夏には2名の研究者の実務研修が実施され、県内伊達市の高い農業技術がウズベキスタンに少しずつ移転されています。



▲真熱な根差しで研修に臨む

シリーズ連載

せかいのくにから [第3回]



私のふるさとーベトナム

ベトナム語学講師 H. T. チャイン

ベトナム Data

- 面積: 33万2,000km² (日本の約0.87倍)
- 人口: 8,300万人あまり (2005年)
- 出生率: 2.0% (政府の呼びかけ→実際の人口増加率: 2.1%)
- 首都: ハノイ (約450万人)
- 最大都市: ホーチミン市 (約800万人)
- 最高峰: ホアンリエンソン山 (3,145m)
- 経済増加倍率: 7% (2005年)
- 通貨: ドンク (1円は138.45ドンク→2005年6月27日現在)

ヴィエトナム (Viet Nam) は、東南アジア、インドシナ半島東部に位置する小さくて細長いS字形の国です。正式国名は「ヴィエトナム社会主義共和国」です。日本語では普通「ベトナム」と呼ばれています。

北は中国、西はカンボジアとラオスに接し、東、南そして南西は南シナ海に面しています。面積は約33万2000km²です。人口は8,300万人を超え (2005年12月現在)、首都はハノイ (約450万人) で、最大都市はホーチミン市 (約800万人) です。また54の民族からなっている多民族国家でベトナム族が約8割を占めています。

ベトナムの北部は部分的に日本と四季に似た気候ですが、中部と南部は熱帯気候で雨期と乾季しかありません。ベトナムは豊かな農業国でコーヒーの生産量が世界でブラジルに次いで2番目で、米とコショウの輸出量も2番目です。最近になってベトナムのエビ (ブラックタイガー) も日本のストアなどにならべられています。わずかながら質のよい石油も出て、その約60%の生産量が日本に輸出されています。

日本との関係はさかのぼって1603年 (江戸初期) からで、日本の朱印船交易政策で (約36%) 136の日本船がベトナムに寄港したという資料もあります。そこでベトナムと日本との交流が始まったのです。



日本製のバイクがホーチミン市を走る

ベトナムの漁法の中で

は当時の日本人から教わった定置網、投網、地引網などの漁法があり、またハチミツのとりかたも日本人に教わったものだといわれます。逆に漆、麻 そして日本食に欠かせないお醤油はベトナムからきたという資料もあります。また18世紀には3人のベトナム人象調教師がはじめて象を日本に連れてきました。最終的にこの3人の調教師は日本の地で骨を埋めたということです。

20世紀初期にベトナムはフランス植民地によって統治されました。そしてフランス植民地に抵抗したベトナム人が「東遊運動」を設立させ、多くのベトナムの若者を日本に送って、日本の明治維新について学びました。その間、日露戦争では日本側に加わって戦ったベトナム人の記録もあります。日露戦争後は生き残ったベトナムの若者が帰国してフランス植民地に対して独立運動を続けました。この「東遊運動」についてはNHKの深夜番組でも紹介されました。

ベトナム中部にはホイアンという日本人町があり、日本人によってつくられたものがほぼ原型として残っています。この「日本人町」を修復のために最近日本政府は何人かの青年海外協力隊員をホイアンに派遣しています。両国間の友好関係はその後途切れてしまいました。ベトナム戦争の間は日本がアメリカに追随していたという世界的な批判もあります。しかし、現在両国の関係は今までと比べ最も友好的なものとなっています。ベトナムが国作りをしている今日、日本政府からたくさんの援助が寄せられています。

治安もよく、料理も美味しいためでしょうか、最近ベトナム旅行が日本人に大変人気となっています。

ベトナム語学講師 H. T. チャイン



World Quiz ワールドクイズ

Q ベトナムで一番有名な日本人の苗字はなんでしょう?

答えは、●ページに

次回予告 インドネシア語学講師 エディザル先生

…どうぞお楽しみに!!

施設見学の『窓』

ドキドキ職場体験の巻 ①

二本松第一中学校第3学年

「とてもわくわくした1日だった」安齋さん
 「青年海外協力隊の隊員になってみたいと思った」平地さん
 「国際協力やボランティアの重要性を知り、自分ができるところをやりたい」という残間さん
 この他にも『中学生でも参加できるボランティアはありませんか?』と聞く積極的な姿が見られました。

ドキドキ職場体験の巻 ②

二本松第三中学校第2学年

「十数年後、この場所にまた来訪したい、国際協力で活躍する夢がある」佐藤さん、「世界の広さを感じ、通訳になることが夢」という森谷さん

今回の職場体験は、以前からJICAや国際協力に関心があったという生徒さんばかりで、『外国で仕事がしたいといえば=二本松=ここかな!』にはこちらも驚きました。

Doki-Doki taiken

▼二本松第一中学校の皆さんと石井事業部長



Doki-Doki taiken

▲二本松第三中学校の皆さん

※URL~ <http://www.jica.go.jp/branch/ntc/jimusho/taiken.html> JICA二本松HPより施設見学申込用紙がダウンロードできます。

JICA用語ミニ知識 Q. 『円借款とはなんですか?』

A. 開発途上国に対して、低利で長期の種やかな条件で開発資金を貸し付けるものです。

国際協力川柳

「異文化に 立ち向かう君 まぶしき背」
 「最後のとりで 世界共通 音楽と笑顔」
 「胃文化 異文化 いい文化」

「シャイチ」
 「シャイチ」
 「シャイチ」

※あなたの川柳大募集!! 次回、掲載された方には粗品をプレゼント
 します! お名前、連絡先などを必ず明記しFAX、又は電子メール
 で応募ください。

CD-Review

CDレビュー



「郷愁のイサーン〜東北タイの音楽」

東北タイの代表的な楽器「ケーン (ラオス笙)」や「フン (口琴)」、「ピン (リュート)」等による演奏集。
 「ケーン」は、タイ・ラオス協力隊員の「おみやげ」アイテムのひとつにもなっていますが、この楽器の演奏は、オットリした日本の音と違い、もの凄く早吹きなので驚きます。
 訓練所「JICAプラザ」の楽器コーナーには、本物の「ケーン」がありますので実際に吹きに来てみませんか?

(1992年、発売元:キングレコード)

良書倶楽部

We recommend that you read this book...

夏号お薦めの本!!



JICAの有志により集められた、43カ国166人の名前とその物語を紹介した本。
 本の収益の一部が、母子家庭のお母さんの自立や子供の教育などの支援に役立っています。
 ぜひご一読を。

'My name is...

世界にひとつだけの名前 角川書店 (2006/03) 1,000円(税込)

協太



W.W.W. ワールドワイドなわたし達...

「福島県立富岡高校」



1学期で国際協力の基礎を学んだ生徒たち、今回はいよいよ外国人に日本文化を直接伝える実践編です。当日はケニア、ガーナ、南アフリカからのJICA研修員8名を招き、1対1で「毛筆」の指導を行いました。

通訳の方の出番がないほど、生徒たちは英語とボディラングージで直接やりとりし、2時間の真剣勝負の結果、立派な作品が完成しました。

このあとも授業で「茶道」や「着付け」などの日本文化を学び、国際人として育っていく富岡高校生徒の様子をお伝えしていきます。

JICAデスク — 徒然なるままに…

青年海外協力隊平成18年度1次隊後期の訓練が始まって4日後。ルワンダ派遣予定の隊員候補生5名と、ルワンダ出身で福島市在住のカンベンガ・マリールイズさん『(特活)ルワンダの教育を考える会』の初めての対面となりました。

ルワンダへの協力隊の派遣は、1994年の内戦を機にストップしていましたが、17年度より再開されることになったのです。これにはルイズさんも大喜び。実はルイズさんの来日のきっかけとなったのも、協力隊員が推薦した福島県海外技術研修制度だったのです。

ルワンダ派遣へ希望と不安を抱きながらの候補生に、ルイズさんから温かい言葉と現地で気をつけることについてお話をいただきました。ルワンダは1994年内戦の後遺症で心に傷を負った人がたくさんいる。家族を失ってしまった人がたくさんいる。それでもそこから立ち直ろうとしている彼らと一緒に励ましあいながら、元気を与えてあげてほしい、そんな言葉に一同、誓いを新たにしました。

残り1ヶ月半の訓練を経て、出発する隊員たち。ルワンダからのお便りも楽しみです。



～国際協力やNGOのご相談は…～

JICAと福島県の連携促進など、各種ご相談を「国際協力推進員」が承ります。ご連絡は下記までお願いします。

財団法人福島県国際交流協会

TEL: 024-524-1315 / FAX: 024-521-8308 / URL <http://www.worldvillage.org/>

ふるさと温泉の素敵なレストラン

そばの里「花季」



「あだたら山」の裾野に佇む本格的な手打ち蕎麦屋。

かつて、訓練所の神谷弘司前所長(故人)が週末にここで蕎麦を打っていたのは有名な話です。お店には焼き物のギャラリーもあるので、立ち寄ってみては?

住所: 二本松市馬場平
(訓練所から車で10分)

※ 夏の地図をご参照下さい。



今年度は協力隊1次隊を前期と後期に分け、訓練を年4回実施することになりました。特に後期(7月～9月)の隊員はほとんどアフリカ諸国対象(インド1名を含む)で、132名が元気に訓練に臨んでいます。

▼モザンビーク バスコダガマの教会



福島県出身JICAボランティア 2006.7.1現在

合計47名【JOCV(短舎)、SV(短舎)、日系青年、日系シニア、調整員】



9月～10月のイベント情報

- 9月2日(土) 第6回いわき地球市民フェスティバル ←下にポスター
- 9月5日(火) 「鶏飼養管理・生産技術」コース開講式
- 9月7日(木) 公開講座 地球のステージ (於:JICA二本松)
- 9月14日(木) 第27回JICA国際協力フォトコンテスト (締切)
<http://www.jica.go.jp/classroom/>
- 9月16日(土) ユースボランティアミーティング ←下にチラシ
- 9月17日(日) Music Warrior in 郡山市駅前広場
- 9月22日(金) JICA国際協力中学生・高校生
エッセイコンテスト2006 (当日消印有効)
<http://www.jica.go.jp/classroom/index.html>

9月7日(木)
15:10～17:00公開講座 地球のステージ
(於:JICA二本松) 出演者: 幾山紀彦 (NPO法人 地球のステージ・医師) *先着50名
連絡先: JICA二本松 TEL: 0243-24-3200
映像と音楽のシンクロステージでインド・東ティモール・アフガニスタンなどの貧困紛争地域の子どものために眠るくたくましい姿を紹介する。 **キリマンジャロ**
<http://www.e-stageone.org/index.html>

地球のステージ

- 10月4日(水) 二本松ちょうちん祭り
- ～6日(金)
- 10月5日(木) 平成18年度第2次隊 入所式

青年海外協力隊及びシニア海外ボランティア 平成18年度秋募集

「募集説明会」及び「1日体験! 協力隊員」日程
平成18年10月1日(日)より、青年海外協力隊・シニア海外ボランティア平成18年度秋募集の説明会を行います。JOCV/シニアOB/OGの体験談や個別相談を行い、皆様の「聞きたい・知りたい」にお応えします。海外ボランティアに興味・関心のある方は、どなたでも説明会に参加できます。入場無料。
募集期間:平成18年10月1日(日)～平成18年11月10日(金)

日付	時間	開催都市	会場	
10月1日(日)	14:00～16:30	郡山	郡山市民プラザ	協力隊・シニア
10月8日(日)	14:00～16:00	会津若松	アピオスペース	協力隊のみ
10月11日(水)	18:30～20:30	福島	コラッセふくしま	協力隊・シニア
10月15日(日)	14:00～16:00	いわき	いわき生涯学習プラザ	協力隊・シニア
10月22日(日)	14:00～16:30	福島	福島テルサ	協力隊のみ
10月25日(水)	18:30～20:30	郡山	郡山市民プラザ	協力隊・シニア

「1日体験! 協力隊員」

10月21日(土)	09:30～14:30	二本松	JICA二本松
10月28日(土)	09:30～14:30	二本松	JICA二本松

参加希望の方は、JICA二本松、募集担当の加藤までご連絡下さい。(申し込み制)

ユースボランティアミーティング

★お楽しみ企画も盛りだくさん★
9月16日(土) 15:00～17:00
二本松市市民センター
参加費:無料
申し込み:9月10日(日)まで
申し込み先:JICA二本松 国際協力課
TEL:0243-24-3200
FAX:0243-24-3214
E-mail: jicanjv@jica.go.jp

編集後記

「まめだんご」というキノコをご存知でしょうか。
福島のトリュフとも言われる「まめだんご」は初夏の一時期に、限られた場所でしか採れない貴重な食材。
岳温泉の隠れた「珍味」を探しに来ませんか?
——(ジャイ男)



JICA二本松へのアクセス

独立行政法人国際協力機構 二本松青年海外協力隊訓練所

〒964-8558
福島県二本松市永田字長坂4-2
TEL:0243-24-3200
FAX:0243-24-3214
E-mail: jicanjv@jica.go.jp

※皆様からのご意見等をお待ちしております。

